

	作品名	作者名	時代	所蔵者名
<b>第一章 筆が彩る皇室の画</b>				
1	廬に鶴鶴図／富士に日の出図	靈元天皇御宸筆	江戸時代中期	香川家より学習院大学文学部史学科寄託
2	仙洞御所由来 麒麟住吉図末廣〈靈元天皇御遺物〉	—	江戸時代前期	勸修寺より寄託
3	こもちひじり物語絵巻	—	室町時代後期	水野家より寄託
<b>第二章 筆が織りなす皇室の書</b>				
4	唐桑机〈光格天皇御遺物写〉	—	元治元年（1864）10月27日調進	勸修寺より寄託
5	鶴亀松竹梅文日月硯〈靈元天皇御遺物〉	—	李朝後期	勸修寺より寄託
6	和歌懐紙「詠月契千亀」	靈元天皇御宸翰	江戸時代中期	香川家より学習院大学文学部史学科寄託
7	伏見天皇御集断簡（広沢切／春の歌）	伏見天皇御宸翰	鎌倉時代	香川家より学習院大学文学部史学科寄託
8	伏見天皇御集断簡（広沢切／冬の歌）	伏見天皇御宸翰	鎌倉時代	個人蔵
9	唐木桜折枝詩絵硯箱〈光格天皇御遺物〉	—	江戸時代後期	個人蔵
10	菊折枝文金銅製水注	—	明治時代	個人蔵
11	案山子に雀図	妙法院宮眞仁法親王筆	天明3年（1783）	個人蔵
12	歌短冊「紅葉映月」／「古寺秋」	山階宮晃親王筆／山階宮妃常子筆	明治時代中期	勸修寺より寄託
13	歌短冊「閑庭寂」	山階宮晃親王筆	明治時代中期	勸修寺より寄託
14	和歌懐紙「春日詠春松契千年」 （元禄2年正月11日 靈元院仙洞御会始詠進歌）	有栖川宮幸仁親王筆	元禄2年（1689）	個人蔵
15	和歌懐紙「呼子鳥」	有栖川宮熾仁親王筆	江戸時代中期	当館蔵
16	和歌懐紙「寄鶴祝」	有栖川宮熾仁親王筆	明治時代前期	個人蔵
17	一行書「筆硯得佳友」	有栖川宮熾仁親王筆	明治35年（1902）	個人蔵
18	書状	後水尾天皇御宸翰	寛永3年（1626）	香川家より学習院大学文学部史学科寄託
19	御流手本（有栖川宮熾仁親王御筆）	—	近代	個人蔵
20	網筆三種（大・中・小）	藤野雲平	現代	個人蔵
21	桐胎彩色ボンボニエール（有栖川宮家・高松宮家紋入） 〈有栖川宮熾仁親王100年祭〉	—	平成7年（1995）1月24日	個人蔵
22	手箱形年中行事詩絵ボンボニエール（有栖川宮家紋入）	—	明治時代後期～大正時代初期	当館蔵
23	行器形ボンボニエール（有栖川宮家紋入）	—	明治時代後期～大正時代初期	当館蔵
<b>第三章 筆は筆のみにあらず</b>				
24	昭和天皇直筆御製草稿	昭和天皇御宸翰	昭和時代後期	当館蔵
25	大正天皇御署名入御肖像	—	明治時代後期	勸修寺より寄託
26	重ね色紙形秋草牡丹文ボンボニエール（久邇宮家紋入） 〈久邇宮智子女王・大谷光暢結婚〉	—	大正13年（1924）4月	当館蔵
27	お爪箱	高松宮宣仁親王所用	明治時代後期	当館蔵
28	鉛筆挿〈裕仁親王（昭和天皇）より明治44年（1911）拝領〉	高松宮宣仁親王所用	—	当館蔵
29	鉛筆箱（3点）	高松宮宣仁親王所用	明治40年代～大正時代初期	当館蔵
30	色鉛筆箱	高松宮宣仁親王所用	大正4年（1915）頃	当館蔵
31	製図用具箱（2点）	高松宮宣仁親王所用	大正時代初期	当館蔵
32	鉛筆箱	高松宮宣仁親王作	大正5年（1916）	当館蔵
33	鉛筆箱（明治45年（1912）弥富破摩雄に下賜）	秩父宮雍仁親王所用	—	当館蔵
34	毛筆箱（大正4年（1915）弥富破摩雄に下賜）	秩父宮雍仁親王作	—	当館蔵
35	扇面「撫子」	高松宮宣仁親王筆	大正時代初期	当館蔵
36	一行書（書初め）「山河四望春」	高松宮宣仁親王筆	大正4年（1915）	当館蔵
37	歌懐紙	高松宮妃喜久子筆	昭和55年（1980）	個人蔵
38	色鉛筆写生画（沼津風景）	高松宮宣仁親王筆	大正2年（1913）	当館蔵
39	箱根図自画賛	高松宮宣仁親王筆	大正3年（1914）	当館蔵
40	若梅図自画賛	高松宮宣仁親王筆	大正4年（1915）	当館蔵
41	「おこった顔」（弥富破摩雄）	高松宮宣仁親王筆	大正時代初期	当館蔵
42	一行書（書初め）「汎宣一視同仁之化」	三笠宮崇仁親王筆	昭和3（1928）年	当館蔵
43	楽焼茶碗 銘「かすみ」	下句：高松宮宣仁親王筆 上句・絵：弥富破摩雄筆	大正4年（1915）8月	当館蔵
44	楽焼盃	秩父宮雍仁親王・高松宮宣仁親王絵付	大正4年（1915）8月19日	当館蔵